

■ みんなで育てた おいしい焼き芋パーティー！（常盤小学校）

1 【活動の趣旨】

児童と地域の方が、さつまいもの苗植えから焼き芋までを共に活動することで、地域での人間関係を広げたり愛着を深めたりする。

2 【特徴的な活動内容】

○「サツマイモをみんなで育てて焼き芋をしよう」

地域の方の協力のもと、1年生の生活科の学習の中で、5月にサツマイモの苗を植えた。地域コーディネーターの方々や民生児童委員の方々にお手伝いいただき、苗の植え方やお世話の仕方を教わった。また活動のために、土を耕したり、雑草を抜いたりしていただき、地域の方が児童の成長を支えていただいているという意識を改めてもつことができた。

11月の焼き芋パーティーの時には、一緒に芋を焼いたり、食べたりして更に交流を深めた。また当日には、窯の準備や火の見張りなどもしていただき、地域の方と共に充実した活動に取り組むことができた。

地域の方からも「一緒に食べるとおいしいね。」や「みんないっぱい食べて大きくなってね。」という温かい言葉をかけていただき、子どもたちにとって、更に地域への愛情を深める活動にすることができた。



【サツマイモの苗植え】



【焼き芋パーティー】

3 【実施に当たっての工夫】

年度初めや学期初めに、学年担任と地域コーディネーター、地域連携担当とで打ち合わせを行い、学習の展開や人材の確保に見通しを持てるようにした。

4 【事業の成果】

- ・事業支援については、専門的な視点を生かした話を聞いたり、体験したりでき、子どもたちの学びが深まった。
- ・継続して授業支援に取り組んでいただいている方が多く、打ち合わせや準備をスムーズに行うことができた。

5 【事業実施上の課題・今後の連携・協働活動実施に向けて】

- ・地域の方々との授業前の打ち合わせによって、授業はスムーズに進むものが多かった一方で、授業後のふり返りの時間をとることは難しかった。地域コーディネーターや授業支援の方々が交代したとしても、連絡や段取り等が引き継げるように、記録の方法を工夫していく必要がある。
- ・活動の見通しは年間計画として立ててはいるが、活動は子どもたちの声で変更することがあるため、年度末に向けての授業支援謝金等の見通しをもつことが難しい。年間計画を立てる段階で、より具体的な支援人数等を考えることができれば、更に見通しがもてると考える。